

平成27年度事業報告について

【新事業創出育成事業】

1. 新事業創出支援施設管理運営事業

以下に示すとおり、退去者に伴う新規入居者や入居期間延長者により、3月末時点で11室中9室の入居となっている。

(1) インキュベーションセンター新規入居

①入居者募集（起業支援室 No.9）

〔募集部屋数〕 事務室タイプ1室 〔申込件数〕 1社（バサルトアウス株式会社）

・入居者審査委員会

〔開催日〕 平成27年5月1日（金）

・入居開始 平成27年6月1日

②入居者募集（起業支援室 No.11）

〔募集部屋数〕 事務室タイプ1室 〔申込件数〕 1社（SAISEI 合同会社）

・入居者審査委員会

〔開催日〕 平成27年5月1日（金）

・入居開始 平成27年6月2日

③入居者募集（起業支援室 No.7）

〔募集部屋数〕 事務室タイプ1室 〔申込件数〕 1社（株式会社アグリクラスター）

・入居者審査委員会

〔開催日〕 平成27年8月19日（水）

・入居開始 平成27年9月1日

(2) インキュベーションセンター入居期間延長

①第1回入居期間延長申込

平成27年5月20日に入居期間満了となる入居1企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔入居期間延長申込者数〕 1企業（福島再生可能エネルギー株式会社）

・入居者審査委員会

〔開催日〕 平成27年5月1日（金）

- ・入居期間延長申込1企業の期間延長を決定。

②第2回入居期間延長申込

平成27年9月上旬に入居期間満了となる入居2企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔入居期間延長申込者数〕 2企業（エコボンド環境工学リサーチ株式会社、株式会社テレジャパン）

・入居者審査委員会

〔開催日〕 平成27年8月19日（水）

- ・入居期間延長申込2企業の期間延長を決定。

③第3回入居期間延長申込

平成28年3月末に入居期間満了となる入居2企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔入居期間延長申込者数〕 2企業（株式会社あおい 水野睦夫）

・入居者審査委員会

〔開催日〕 平成28年2月19日（金）

・入居期間延長申込2企業の期間延長を決定。

(3)インキュベーションセンター退去

・平成27年5月29日 1社 退去（起業支援室6）（株式会社ニチオン）

・平成27年8月31日 1社 退去（起業支援室5）（PSP株式会社）

・平成28年2月28日 1社 退去（起業支援室6）（オクト産業株式会社）

※平成27年7月に起業支援室7から起業支援室6に転室

(4)インキュベーションセンター入居者成果発表会

入居者の研究成果を広く周知するとともに、起業化・事業化を支援するため、「入居者成果発表会」を実施。

〔開催日〕 平成27年11月30日（月）

〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

〔発表者〕 入居者9社

〔参加者〕 70名

〔内容〕 ・入居企業のプレゼンテーションによる成果発表

・各展示ブースにおいて研究成果等紹介

・交流会の開催

2. 債務保証事業

(1)債務保証の実績

①平成27年度保証実績

0件

②平成27年度末現在の保証残高

保証残高は無し。

【技術振興事業】

1. 研修指導事業

(1) 産学連携技術者研修事業

① 産学連携製造技術人材育成事業（マイスターズ・カレッジ2015）

ものづくり中小企業の技術者等を対象に、企業・大学等高等教育機関、産業支援機関等の産学連携により、基盤的製造技術（金属加工等）の高度化を図る人材育成事業として、次の2コースにより実施した。

○イノベーションマスターコース

〔研修期間〕 平成27年10月5日～11月26日

〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
日本大学工学部

〔講師〕 日本大学工学部担当教員 3名

〔受講者数〕 16名

〔内容〕 ものづくり製造技術等に関する多様なイノベーション技術、知識の習得
大学の持つ革新的な研究分野の紹介、技術シーズの提供等
座学と実技が密接にリンクした実践的な研修

- ・開講式、基調講演
- ・座学研修 4.5 時間（1回1.5時間×3回）
- ・実技研修 18 時間（1回2.0時間×9回）
- ・視察研修会 1回

国立研究開発法人 産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所
福島県ハイテクプラザ

- ・閉講式、交流会

○マシニングセンタコース

〔研修期間〕 平成27年10月5日～11月26日

〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
福島県立テクノアカデミー郡山

〔講師〕 福島県立テクノアカデミー郡山 指導員 2名
京セラ株式会社 1名 三菱マテリアル株式会社 2名

〔受講者数〕 12名

〔内容〕 マシニングセンタのプログラミング（3次元CAD/CAM）技術等を習得。

- ・開講式及び基調講演（イノベーションマスターコースと併せて実施）
- ・プログラミング 18時間（1回3時間×6回）
- ・マシニング操作 2時間（1回2時間×1回）
- ・工具知識の習得 4時間（1回2時間×2回）
- ・視察研修 1回

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所
福島県ハイテクプラザ

- ・閉講式、交流会（イノベーションマスターコースと併せて実施）

②ちびっ子マイスターズ・カレッジ

日本大学工学部と連携し、小学生（4年生～6年生）とその保護者を対象に、「“偏光現象を利用した不思議な万華鏡”」をテーマに、「偏光現象」について、「スライドを用いた人間以外の生物のものの見え方」や「偏光紙を用いた実験」など、小学生にも分かりやすい内容で講義を実施し、「ものづくり」や「科学」について理解を深めた。

〔開催日〕 平成27年7月25日（土）

〔会場〕 郡山地域テクノポリス ものづくりインキュベーションセンター

〔参加者数〕 38組 67名

〔講師等〕 日本大学工学部 生命応用化学科 教授 加藤 隆二 氏

日本大学大学院 工学研究科 大学院生

日本大学工学部 生命応用化学科 学生

〔内容〕 ・偏光現象に関する講義、実験

・親子による万華鏡工作

(2)科学技術交流事業

①研究会開催事業

日本大学工学部等との連携による研究会を開催した。（アライアンス研究開発推進部会との共催事業）

○サステナブル地域づくりフォーラム

(7)第1回サステナブル地域づくりフォーラム

〔開催日〕 平成27年7月9日（木）

〔会場〕 日本大学工学部 50周年記念館（ハットNE）

〔参加者数〕 92名

〔内容〕 メインテーマ 「持続可能で自立した地域づくりを目指して」

担当コーディネーター 日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

演題1 「サステナブルな地域づくりを支えるインフラ整備のあり方」

講師 日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

演題2 「サステナブル地域づくりと水の将来ビジョン」

講師 日本大学工学部 土木工学科 教授 中野 和典 氏

演題3 「拠点づくりからはじまるサステナブルな地域づくり」

講師 日本大学工学部 建築学科 准教授 浦部 智義 氏

(4)第2回サステナブル地域づくりフォーラム

〔開催日〕 平成27年11月5日（木）

〔視察先〕 ハーモニー湖南（旧三代小学校）

郡山市・日本大学工学部再生可能エネルギー共同研究施設（旧赤津小学校）

〔参加者数〕 37名

〔内容〕 「持続可能な地域づくりを目指して～郡山市湖南町を考える～」をテーマに、廃校を活用している上記二つの施設を訪問したほか、旧赤津小学校で参加者との意見交換を行った。

担当コーディネーター 日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

現地施設説明者

社会福祉法人 心愛会 ハーモニー湖南 管理者 関和 いずみ 氏
日本大学工学部 機械工学科 特任教授 小熊 正人 氏

○健康医療福祉産業創生フォーラム

(7) 第1回健康医療福祉産業創生フォーラム

〔開催日〕 平成27年7月18日(土)

〔会場〕 日本大学工学部次世代工学技術研究センター

〔参加者数〕 86名

〔内容〕 『超高齢化社会の医療・介護はどうなるのか? FUKUSHIMA 発の次世代ヘルスケアシステムを目指して』

担当コーディネーター 日本大学工学部電気電子工学科 教授、次世代工学研究センター長 酒谷 薫 氏

第1部

基調講演 「次世代ヘルスケアシステム” 郡山モデル” の提案」

講師 日本大学工学部教授 次世代工学技術研究センター長 酒谷 薫 氏

招待演題 「スローライフの国イタリアのスマートシティ計画」

講師 ベルガモ大学 人間社会学部教授 Angelo Compare 氏

第2部

パネルディスカッション

パネリスト N J I 代表取締役社長 橋本 弘幸 氏

パネリスト 有料老人ホーム入居支援センター理事長 上岡 榮信 氏

パネリスト スタイルプレゼンター 山口 遊子 氏

(イ) 第2回健康医療福祉産業創生フォーラム

〔開催日〕 平成27年12月10日(木)

〔会場〕 日本大学工学部次世代工学技術研究センター

〔参加者数〕 50名

〔内容〕 テーマ 『ふくしま・郡山の未来を築く次世代ヘルスケア産業を目指して』

担当コーディネーター 日本大学工学部電気電子工学科 教授、次世代工学研究センター長 酒谷 薫 氏

第1部

演題1 「機械関連中小企業の医療・健康・福祉機器分野への参入状況と課題」

講師 一般財団法人 機械振興協会 経済研究所 次長 北嶋 守 氏

演題2 「大阪大学におけるヘルスケア分野の産学連携研究と教育システム」

講師 大阪大学 国際医工情報センター 特任准教授 八木 雅和 氏

第2部

演題1 「ふくしまヘルスケア産業プラットフォームの設立と今後の展開」

講師 特定非営利活動法人 NPO ほうらい 副理事長 高荒 弘志 氏

○イノベーションテクノロジーフォーラム

〔開催日〕 平成28年3月17日（木）

〔会場〕 郡山地域テクノポリス ものづくりインキュベーションセンター

〔参加者数〕 19名

〔内容〕 当フォーラムのボードメンバー企業「ものづくりインキュベーションセンター入居者」「金融機関」などの方々を対象に、当フォーラムのサブコーディネーターを務めている日本大学工学部の先生方5名から、「研究内容」や「地域企業の産業・事業へ貢献できると考える研究課題」等について、発表いただく。

その後、サブコーディネーターの先生方と参加企業の皆様で「当フォーラムの進め方」や「今後の共同研究推進の可能性」等について、意見交換を行う。

企業側からは、『企業側のニーズと大学側の研究内容をどのようにマッチングさせるか』『他地域の失敗事例を踏まえた郡山地域での産学連携、企業間連携方法』等、活発な質疑がなされた。

【サブコーディネーター（発表者5名）】

日本大学工学部電気電子工学科教授	渡部 仁貴 氏
日本大学工学部電気電子工学科准教授	高梨 宏之 氏
日本大学工学部生命応用化学科教授	加藤 隆二 氏
日本大学工学部情報工学科准教授	中村 和樹 氏
日本大学工学部機械工学科助教	遠藤 央 氏

②産学官交流会等開催事業

テクノポリス講演会・交流会の開催や関係機関による交流会・講演会への支援。

(7)第16回 産・学・官連携フォーラム（日本大学工学部との共同主催）

日本大学工学部との共催により、産・学・官 組織の協力体制を強化させるため、各関係機関との連携促進に向けてフォーラムを開催した。

また、今年度は各フォーラムのリスタートとなるため、フォーラムの概要や役割等を説明した。

〔開催日〕 平成27年11月25日（水）

〔会場〕 日本大学工学部50周年記念館（ハットNE）大講堂

〔参加者数〕 150名

〔内容〕 スローガン 健全で持続可能なふくしまの実現を目指して

○フォーラムの概要説明

1 イノベーションテクノロジーフォーラム

講師 日本大学工学部 機械工学科 教授 柿崎 隆夫 氏

2 健康医療福祉産業創生フォーラム

講師 日本大学工学部 電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏

3 サステナブル地域づくりフォーラム

講師 日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

○話題提供

1 イノベーションテクノロジーフォーラム

講師 東成エレクトロビーム株式会社 会長 上野 保 氏

2 健康医療福祉産業創生フォーラム

講師 株式会社資生堂 リサーチセンター

シニアサイエンティスト 谷田 正弘 氏

3 サステナブル地域づくりフォーラム

講師 三菱商事復興支援財団 事業推進チームリーダー 中川 剛之 氏

○パネルディスカッション

【座長】

日本大学工学部 機械工学科 教授 柿崎 隆夫 氏

【パネリスト】

日本大学工学部 電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏

日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

東成エレクトロビーム株式会社 会長 上野 保 氏

株式会社資生堂 リサーチセンターシニアサイエンティスト 谷田 正弘 氏

三菱商事復興支援財団 事業推進チームリーダー 中川 剛之 氏

(イ)「テクノポリス新春講演会」の開催

(郡山地域テクノポリス市町村協議会、郡山地域テクノポリス推進協議会、郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と共催)

地域産業の活性化に関わる様々な分野の第一線で活躍する人物による講演会を開催。

〔開催日〕 平成28年1月18日(月)

〔会場〕 郡山商工会議所 6階中ホール

〔参加者数〕 75名

〔内容〕 ・テーマ 「元気経営のヒミツはこれだ!中小企業・製造業取材現場から」
・講師 (有) 産業情報化新聞社 代表取締役
「日本一明るい経済新聞」編集長 竹原 信夫 氏

(ウ)須賀川市企業間ネットワークセミナー2015への協力

須賀川市内外における企業間のネットワークの拡大を推進し、地場産業の活性化を図るため、セミナーによる交流の場を設定し、企業に対する情報発信や企業間連携による研究開発、取引拡大等の機会を提供した。(須賀川市主催、テクノポリス共催事業)

〔開催日〕 平成28年2月10日(水)

〔会場〕 グランシア須賀川

〔参加者数〕 120名

〔内容〕 講演1 「福島県における産業技術総合研究所と地元企業との連携について」
・講師 国立研究開発法人産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所
上席イノベーションコーディネータ 近藤 道雄 氏

講演2 「福島初・地域新電力実施の課題と対策」

・講師 須賀川瓦斯株式会社

取締役副社長 橋本 直子 氏

③郡山地域資源情報発信事業

郡山地域の先進的研究機関、学術研究機関、優良製造業、産業遺産を貴重な地域資源と捉え、地域資源を有機的に結びつけた「サイエンスツアー（産業ツーリズム）」を実施し、郡山地域の魅力を幅広く県内外に情報発信を図った。

○サイエンスツアーin こおりやま2015

〔内 容〕 三春ダム、日本大学工学部、郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンターを研修

〔件 数〕 5件

6月12日	福島県管工事協同組合連合会青年部	50名
7月25日	水戸テクノ倶楽部（水戸商工会議所）	12名
10月6日	楽友会（あさかの学園大学0B）	57名
11月5日	あさかの学園大学 郷土・生活学科1年	47名
12月11日	あさかの学園大学 芸術・文化学科1年	32名

(3) 技術情報提供事業

①NUBIC（日本大学産官学連携知財センター）等との連携による技術情報提供事業

NUBIC等との連携によるセミナーや定例相談会の開催等を通じて、大学の有する知的財産の企業への技術移転をはじめ、共同研究の促進など、産学連携活動の円滑化を支援。

〔内 容〕 産学連携・技術・知財に関する相談

〔期 間〕 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで（月1回程度）

〔相談件数〕 25件

〔出前セミナーIN企業〕 1件

2. 研究開発活動支援事業

(1) 研究開発コーディネーター事業

①技術コーディネーターの設置

産学官連携や企業間連携の推進を図るための技術コーディネーターを設置。

②技術アドバイザーの委嘱

各種助成制度案件に係る事前審査及び成果確認業務等を行うため、日本大学工学部の各学科（土木、建築、機械、電気電子、生命応用、情報）から教員各1名を、当財団の技術アドバイザーとして委嘱。

3. 研究開発活動助成事業

(1) F/S（フィージビリティ・スタディ）支援事業

研究開発及び新事業創出に係る実現可能性調査に要する経費の一部を助成。

（平成27年度助成決定件数 0件）

(2) 研究開発助成事業

新技術又は新製品の開発、生産工程の合理化又は製品の高付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発に要する経費の一部を助成。

（平成27年度助成決定件数 2件）

(3) 技術等審査委員会の開催

研究開発助成金申請及び地域技術起業化助成金申請に対し外部審査委員による審査会を開催。

技術等審査委員会開催日 平成27年7月30日（木）【研究開発助成金申請2件】

平成28年2月9日（火）【起業化助成金申請1件】

4. 県再生可能エネルギー一次世代技術開発事業

(1) 福島県再生可能エネルギー一次世代技術開発事業

平成25年度に採択された「テーマ：再生可能エネルギー利用次世代型農業施設開発」事業について、平成27年度事業費補助金として41百万円の交付決定通知を受け、事業を実施。

- ・（公財）郡山地域テクノポリス推進機構（補助事業申請者）
- ・アライアンス形成会議コア企業3社（連携企業）
（株）内藤工業所、エスケー電子工業（株）、（株）リゾーム
- ・日本大学工学部（技術支援）

【地域技術起業化推進事業】

1. ものづくり起業家育成・支援事業

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議を中核として、事業連携を推進。

(1) 企業連携（アライアンス）の促進

① 会議・交流会等の開催

(7) 役員会

- 〔開催日〕 平成27年5月20日（水）
- 〔会場〕 インキュベーションセンター会議室
- 〔参加者〕 16名
- 〔内容〕
 - ・26年度事業報告及び収支決算報告について
 - ・27年度事業計画（案）及び予算（案）について
 - ・27年度役員（案）について

(4) 総会・交流会

- 〔開催日〕 平成27年6月10日（水）
- 〔会場〕 ホテルハマツ
- 〔参加者〕 28名
- 〔内容〕
 - ・26年度事業報告及び収支決算報告について
 - ・27年度事業計画（案）及び予算（案）について
 - ・27年度役員について
 - ・地域貢献を可能とする強い組織づくりのために～福島大学起業家育成の取り組みから～（福島大学経済経営学類 教授 奥本 英樹 氏）
 - ・福島県におけるロボット産業振興への取組と現状について（福島県産業創出課 主幹 関根 義孝 氏）

(7) 全体会・交流会

- 〔開催日〕 平成27年9月29日（火）
- 〔会場〕 ホテルハマツ
- 〔参加者〕 32名
- 〔内容〕 第1回プレゼン会
 - ・特別企業紹介
株式会社菊池製作所 執行役副社長 一柳 健 氏
 - ・アライアンス会員企業による企業紹介
ひさき設計株式会社 代表取締役 吉田 慶太 氏
林精器製造株式会社 代表取締役社長 林 明博 氏
 - ・新製品紹介
株式会社吉城光科学 強化ガラス製液晶保護シート

(1) プレゼン会

・第2回プレゼン会

- 〔開催日〕 平成27年12月2日（水）
- 〔会場〕 ビッグパレット

- [参加者] 28名
[内 容] ・アライアンス会員企業による企業紹介
神田産業株式会社 代表取締役 神田 雅彦 氏
株式会社吉城光科学 会長 吉田 俊夫 氏
営業管理部長 横田 良治 氏
陸奥テックコンサルタント株式会社 専務 長谷川 潔 氏

・第3回プレゼン会

- [開催日] 平成28年2月25日(木)
[会 場] ビッグパレット
[参加者] 40名
[内 容] ・新製品紹介
神田産業株式会社 ハニリアルボード製バックパネル
・アライアンス会員企業による企業紹介
株式会社北斗型枠製作所 代表取締役 遠藤正成
株式会社アイワコーポ 代表取締役社長 鈴木晃

(オ) コア企業会議 計7回開催

(カ) 日本大学工学部企業見学会への協力

学生にモノづくりに関わる職場を見学させ、技術者として仕事をする意義を理解させるとともに、地元企業と大学との連携を深めることを目的に開催。

- [開催日] 平成27年10月23日(金)
[見学先] 林精器製造(株)、SUS(株)福島事業所、(株)小松製作所郡山工場、東成イービー東北(株)
[参加者] 機械工学科3年生以上の学生と担当教員 157名
[内 容] 会社概要説明、工場内見学、質疑応答

(キ) NUBIC (日本大学産官学連携知財センター) の企業出前セミナーの開催

- [開催日] 平成28年1月29日(金)
[実施場所] 株式会社ザイン (郡山市富久山町)
[内 容] NUBIC の紹介、NUBIC の技術移転事例紹介、企業が望む日本大学の研究シーズ紹介、研究シーズの紹介に係る技術協議と今後の対応

(2) 研究会活動支援事業

①アドホック研究会

(ア) アドホック研究会

4月 定期総会

5月 テーブルスピーチ

テーマ「産業人材の育成に向けた福島県立テクノアカデミー郡山の取組み」

講師 福島県立テクノアカデミー郡山 校長 喜古 克広 氏

- 6月 例会、情報交換会
- 7月 例会、情報交換会
- 8月 視察研修
- ・ふくしま医療機器開発支援センター（建設現場）
 - ・（一財）脳神経疾患研究所 南東北BNC T研究センター
- テーブルスピーチ
- テーマ「福島県医療産業集積プロジェクトについて」
- 講師 福島県医療関連産業集積推進室 室長 大越 正弘 氏
- 9月 例会、情報交換会
- 10月 例会、情報交換会
- 11月 視察研修
- ・日産自動車いわき工場
- 12月 テーブルスピーチ
- テーマ「地方創生に向けた医療機関の中心市街地集積によるまちづくり」
- ～福島市を事例として～
- 講師 （一財）とうほう地域総合研究所 和田 賢一 氏
- 1月 例会、情報交換会
- 2月 例会、情報交換会、新会員紹介（㈱香設計、㈱中央特殊印刷）
- 3月 例会、情報交換会

(イ)須賀川方部アドホック研究会

- 4月 定期総会
- 5月 平成27年度事業計画（月別テーマ）に係る意見交換会
- 6月 テーブルスピーチ
- テーマ 職場における熱中症対策
- 講師 ㈱大塚製薬仙台支店郡山出張所 野崎 石松 氏
- 7月 会員企業視察 株式会社日向精工
- テーブルスピーチ
- テーマ 工科系大学と取り巻く環境
- 講師 千葉工業大学工学部 教授 西田 保幸 氏（須アド特別会員）
- 8月 会員企業視察 有限会社城精工
- 9月 企業視察研修（宮城県）
- 株式会社G R A
- 東北電力火力発電所・太陽光発電所
- 10月 海外視察研修（ミャンマー）
- ハニーズミャンマー第2工場、王子HDミャンマー工場 ほか
- 11月 会員企業視察 三宝製薬株式会社福島工場
- 企業視察研修 株式会社しらかわ五葉倶楽部
- テーブルスピーチ
- テーマ 平成の経済小史 ―金融機関とくに地域金融機関からの視点―

講 師 須賀川商工会議所 前会頭 長谷部 一雄 氏

- 12月 企業視察研修 三春工業株式会社
三春町異業種交流会との交流
- 1月 テクノポリス新春講演会への参加 ※大雪のため、懇親会はなし。
- 2月 須賀川市企業間ネットワークセミナーへの参加
- 3月 新年度事業計画に伴う会員意見交換会

(3) 「こおりやま産業博 –KORIYAMA EXP02015」の共催

〔開催日〕 平成27年9月19日(土)～20日(日)

〔会場〕 ビックパレットふくしま

〔出展者数〕 190企業・団体

〔内 容〕 昨年まで開催してきた「農業・観光物産展」と「産業フェア～夢商い」を融合し、こおりやま産業博 –KORIYAMA EXP02015–として、初めて開催されました。「ふるさと名物の発見と近未来を体験できる暮らしの博覧会」をテーマに市内外から約190の企業や団体・支援機関等が展示・販売コーナーを設け、ロボットなどの最新技術や伝統工芸、医療、介護、福祉など暮らしに役立つ情報の提供や地元の野菜や果物、特産品を販売するコーナーがあり、多くの来場者で賑わいました。

2. 「地域間産業交流支援 (RIA: Regional Industry Alliance program) 事業」の展開

①事業の概要

郡山地域テクノポリス圏域及び近隣産業集積地の医療福祉機器開発に関連する中小企業群と韓国 江原道 原州市の医療機器産業クラスターを中心に展開されてきたJETROの「RIT: 地域間交流支援事業」の実施で培った、日韓両国の産業交流基盤と信頼関係を継承して、相互連携の下、新産業の創出、活性化を目標に事業展開に努めている。

〔対象国・地域〕 韓国 江原道 原州市及び周辺地域の医療機器産業クラスター

〔国内の実施機関〕 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構

〔韓国の実施機関〕 財団法人 原州医療機器テクノバレー

②事業の展開

- 相互に、両地域で開催される医療・福祉機器産業関連の展示会に試作品・完成品、医療設備・システム、高品質工業部品等の出展を行い、個別商談の実施と持続的なフォローをとおして医療福祉関連機器の共同開発や起業化を目指す。
- 医療福祉機器開発に係るセミナーやシンポジウム及び実地指導を通じて、開発に係る技術協議や個別商談を促進する。
- 国際交流事業として築いてきた信頼関係の下で、医療機器分野以外の交流可能性にも配慮しながら、情報交換や友好促進に努める。

③事業の活動内容

(7) 「江原医療機器展示会 GMES2015」への参加及び関連機関の視察

〔期 間〕 平成27年9月8日(火)～9月9日(水)

〔場 所 等〕 韓国 江原道 原州市 「江原医療機器展示会 GMES2015」会場

[医療機器総合支援センター(MCC: Medical Device Complex Center)内]

[参加者] (公財)郡山地域テクノポリス推進機構、出展企業: 3社[(有)エスク、ひさき設計
株、(株)内藤工業所]、日本大学工学部長尾研究室

[内容] 医療関連製品の展示と相互技術協力の推進及び商談、原州の医療機器開発関連施設[医療機器総合支援センター(特に“ものづくり”の One-stop Service System
について見学)、原州市内で開発中の企業都市(MediPolis)、東華医療機器専用公
団、革新都市(Innovation City)]等の視察。

(イ)「メディカルクリエーションふくしま2015」への参加及び関連機関の視察

[開催日] 平成27年11月11日(水)～11月12日(木)

[会場] 「メディカルクリエーションふくしま2015」ビックパレットふくしま

[内容] 当財団で、「韓国原州医療機器産業クラスター」のブースを設け、韓国側より(財)
原州医療機器テクノバレーと原州市役所 経済戦略課、そして企業5社[Bio
Protech.Inc.、DAIHAN Biomedical Co.,Ltd.、N-care Inc.、MTC Co.,Ltd.、
INSKIN Co.,Ltd.]が参加出展し、日本企業との技術相談と商談展開。福島県ハイ
テクプラザの視察等を行った。

3. 地域技術起業化支援・助成事業

(1) 新技術・新製品市場開拓支援事業

新技術、新製品の市場開拓や販路拡大につなげることを目的とする産業見本市等への出展や
市場等の調査、テストマーケティング、アドバイザーの活用など戦略的マーケティングに要す
る経費の一部を助成。

① 産業見本市等出展支援事業

(平成27年度支援決定件数 0件)

(2) 地域技術起業化助成事業

研究段階を終え、起業化の可能性が高まった地域技術を応用可能な段階へと成熟させ、製品
化・商品化するため、商品・デザイン開発・情報収集、市場開拓などの事業に要する経費の一
部を助成。

(平成27年度助成決定件数 1件)

4. コーディネート事業

(1) 産学連携コーディネート業務

郡山市が、『市内企業に関する事業内容や得意分野等の調査分析を行い、優れた技術を有す
る企業の企業間連携、産学連携を推進し、新事業、新産業の創出及び関連産業の集積を図ると
ともに、企業が抱えている課題を解決することにより、企業の持続的な発展を支援する。』こ
とを目的に、今年度初めて実施した委託業務を当財団が受託する。

[発注者] 郡山市

[件名] 産学連携コーディネート委託

[受注者] (公財)郡山地域テクノポリス推進機構

[受託期間] 平成27年11月26日から平成28年3月31日まで

- 〔業務内容〕
- (1) 製造業を中心とした市内企業に関する事業内容や得意分野等の調査分析
 - (2) (1) の調査結果に基づき、優れた技術力を有する市内企業と大学、公的研究機関等との連携促進
 - (3) 「再生可能エネルギー・医療機器関連産業への参入意向アンケート調査」に回答した企業を主な対象とし、企業が抱えている課題や新産業創出のための施策に対する意見、要望についてのコーディネーターによる訪問ヒアリング及び課題解決に向けた支援
 - (4) 企業情報のウェブサイト上での公開及び県外産業支援機関との連携
 - (5) 企業の製品発表会（プレゼン会）の開催

【広報活動事業】

1. 広報誌「サザンクロス」等による広報

広報誌を圏域内企業、関係行政機関、商工団体、研究会会員などに配布。また、毎月、「インキュベーションセンター」だよりを発行し、事業周知を図った。

2. ホームページ、SNS(ソーシャルネットワークシステム)による広報

インターネット・ホームページ「テクノ・ニューコメ インフォメーション」や、SNS (Facebook ページ) により、テクノポリスの事業概要をはじめ、各種セミナー、研究会の開催案内・参加募集・開催報告、助成制度案件の募集など、企業に役立つ情報を提供。

3. メールマガジンの発行

会員企業等に各種セミナーや研究会の開催案内・参加募集・開催報告、その他事業等の実施報告、助成制度等の情報を提供するため、メールマガジンを月2回程度発行(配信数586通/回。)

【理事会等の開催】

1.監査会

- 平成27年5月28日(木)
 - ・平成26年度事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び附属明細書並びに財産目録について

2.理事会

- 第1回 平成27年6月4日(木)
決議事項
 - ・平成27年度定時評議員会の招集について
 - ・平成26年度事業報告について
 - ・平成26年度計算書類等について
- 第2回<決議省略の方法による> 平成27年7月10日(金)
決議事項
 - ・評議員会の招集について
- 第3回 平成27年12月16日(水)
報告事項
 - ・平成27年度事業執行状況について
決議事項
 - ・平成27年度補正予算(案)について
 - ・利益相反取引に係る承認及び報告について
 - ・個人番号及び特定個人情報の保護に関する基本規程(案)について
 - ・資金運用管理規程の一部改正(案)について
- 第4回 平成28年3月22日(火)
決議事項
 - ・平成27年度補正予算(案)について
 - ・平成28年度事業計画(案)について
 - ・平成28年度当初予算(案)について
 - ・平成27年度における減価償却引当資産への積立限度額について
 - ・減価償却引当資産の目的外の取崩しについて
 - ・事務局長任免の承認について
 - ・評議員会の招集について

3.評議員会

- 第1回<決議省略の方法による> 平成27年5月14日(木)
決議事項
 - ・評議員の選任について
 - ・一時借入れに伴う借入限度額について
- 第2回<定時> 平成27年6月23日(火)
決議事項
 - ・平成26年度計算書類等について

報告事項

- ・平成26年度事業報告について
- ・平成27年度事業計画について
- ・平成27年度収支予算について

○ 第3回〈決議省略の方法による〉平成27年7月23日(木)

決議事項

- ・理事の選任について

【役員等の異動】

1.評議員

平成27年3月31日辞任 吉田 孝、平成27年5月14日選任 安達和久
平成27年3月31日辞任 飛木孝久、平成27年5月14日選任 村上清喜
平成27年3月31日辞任 渡辺 勝、平成27年5月14日選任 浜津佳秀

2.理 事

平成27年7月23日辞任 永林正典、平成27年7月23日選任 矢部玄幸

【事業報告の附属明細書の省略】

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成を省略する。